

小佐々地区コミュニティ・スクール 設立準備委員会たより No. 2

平成28年11月18日

発行：小佐々地区コミュニティ・スクール設立準備委員会

**小佐々地区3校(小佐々小・楠栖小・小佐々中学校)は
コミュニティ・スクールになる準備を進めています**



十一月四日(金)【小佐々地区公民館にて】

コミュニティ・スクール講演会

CSマイスター・森 保之先生を迎えた講演会は、280名を超える参加者となりました。佐世保市教育委員会中原教育次長あいさつ、コミュニティ・スクール設立準備委員会からのこれまでの取組について説明、そして、森先生からのコミュニティ・スクール立ち上げに向けて、「地域とともにある学校づくりの推進」というテーマでお話をいただきました。

森先生からは、「こんなにたくさんの方が聞きに来てくれた。絶対に小佐々は成功する！」といううれしい言葉をいただきました。

今まさにできあがろうとしているコミュニティ・スクールとは一体どんなものなのか。学校と地域はどう変わるのか。コミュニティ・スクールと初めて聞く方たちからは、講演会の感想の中に、「これが実現したらすごい!」「地域と学校とで力を合わせて、子どもたちを育てていかなくては」といったうれしい声を聞きました。

コミュニティ・スクール講演会



福岡教育大学教職大学院 教授 森 保之先生
森先生に、日本各地のコミュニティ・スクールの立ち上げを推進される方（CSマイスター）として、お話をいただきました。

コミュニティ・スクールは、オンリーワンのものであり、地域が違えば、まったく違うものになる。「地域とともにある学校づくりをすること」それが目標であり、そのツールの一つが「コミュニティ・スクール」である。学校だけが、子どもの教育を引き受ける時代は終わった。



◎ コミュニティ・スクールを導入するよさ

1 社会総がかりで子どもたちを育む体制のために

自己肯定感の低さ
社会参画への意識の低さ
教育指導内容の多様化 など

学校だけでなく、地域の意見や力を生かし、子どもたちの学びの場をゆたかにしていくことが必要。

2 地域創生を目指して

人口減少問題。地方消滅の危機。児童虐待問題。
児童の貧困率—日本、世界でワースト10位。地域から孤立している人2割。

今後日本はどうなるのか？

3 これからの時代を生きる子どもたちのために

グローバル化・少子高齢化による厳しい時代。
65%の子どもが今はない職業に就くと言われる。

新たな課題に対して、知識を応用し、自ら考え、解決に向けて行動するための
思考力・判断力・表現力が必要

4 連携・協働体制の構築に向けて

学校と地域は互いの良さを発揮して、連携・協働する。 双方向性の関係。
互いの魅力を高めることが大切。

- ・地域とともにある学校へ転換
- ・子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築
- ・学校を核とした地域づくりの推進

この
3点セットが
必要！

☆ コミュニティ・スクールの魅力=取り入れたらどのようなよさがあるのか

- 子どもにとって — 多くの大人に関わることで、学びが豊かになる。
- 保護者にとって — 学校への理解、自己研さん「自分たちも学ばなければ！」が高まる。
- 地域にとって — 子どもが地域に出かけ貢献する。「公民館寺子屋・生き生きサロン等」
地域が子どもを支える。「子どもの居場所プロジェクト・通学合宿」
- 教職員にとって — 地域の人々の理解と協力を得た学校運営（風通しのよい学校）

◎ コミュニティ・スクール導入に向けて

- ① 目標を共有すること — 「**どういう子どもを育てたいのか**」
- ② 組織づくりを行うこと — 「**リーダーの組織と活動組織をつくる**（協議と実働）。
CSと地域学校協働本部が両輪となって連携・協働」
- ③ 3校で一つの学校運営協議会を設置 — 小中一貫ならよい。小佐々は一つでよい。

だいじな こと

- 学校・地域・家庭、それぞれがお客さんにならないこと。みんなが主役！
- 関係者が「熟議」を重ねること。（十分によく論議すること）
- 学校がマネジメントして、地域と連携・協働する。
 - ・ 町づくりの一環として、子どもが地域に貢献する。
 - ・ 自分たちの家庭教育をどうするか考える。

学校も地域も家庭も元気になる。

〈アンケート・感想から〉

- ・実現すれば、素晴らしい取組だと思った。
- ・よくわからない。もっともっと研修やこういう話を聞く機会が必要。
- ・コミュニティがうまく動き出すと、子供たちのあいさつも良くなる。
- ・地域の方との交流が増えるから、うまくいくと生き生きした子ども達及び生き生きとした大人になるでしょう。どれだけの大人が参加協力するか、協力したくなるかが一番の問題点。
- ・自分も何かできるような気がしてきた。だれでも参加しやすい、協力しやすい形のものになれば、きょうまくいくと思います。
- ・どう具体的に動くのかとなると、何をすればいいのかわかりません。

地域・保護者・学校(教職員)さらに、町外の方まで、たくさんの方が、新しくできるコミュニティ・スクールについて理解しようと集まりました。小佐々地区を元気な町にしたい。小佐々の子どもたちをみんなまで育てていこう。そういう思いを再確認した講演会でした。

佐世保市教育委員会研究指定 中間指導を受けました

10月19日(水)、楠栖小学校において、佐世保市教育委員会中間指導を受けました。

- ・小佐々地区3校およびコミュニティ・スクール設立準備委員会のこれまでの取組とこれから目指す方向性の説明
- ・楠栖小学校の「地域教育力を生かした特色ある学校」としての取組説明
- ・授業公開— 楠栖小学校4年生の水産教室「アマモの養殖・カサゴの放流」
- ・市教育委員会からの指導



上記のような内容で行われました。以下は、佐世保市教育委員会からの指導助言です。



- ・3校既存の地域素材は、非常に価値が高い。今後一層の教育課程の整備に期待する。
- ・本日の授業は、明確な狙いのもと、地域の「人・もの・こと」に鋭く着眼し、周到に準備された授業であった。指導者の情熱と意欲的に学ぶ子どもたちの姿が印象的であった。
- ・次期学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」や「地域創生」等、「地域とともにある学校」にかかる理念が打ち出され、全国的にその

機運が高まることが予想される。小佐々地区3校の先生方には、本市の教育をリードする気概と誇りをもって、一層の研究推進に尽力いただきたい。

第4回コミュニティ・スクール設立準備委員会を開催しました。

第4回設立準備委員会では、以下の内容を協議しました。

- 市教委中間指導報告
- コミュニティ・スクール講演会アンケートから見える成果と課題
- 『地域とともにある学校づくりフォーラム』報告
- 『目指す子ども像』『コミュニティ・スクールの名前』募集アンケート など

講演会後のアンケートの感想や地域の方の声に、講演会の成果とみなさんに理解していただく難しさを感じました。

準備委員会では、地域みなさんへの理解と設立に向けての体制づくりに力を注いでいます。地域みなさんとの関わりの中で、小佐々地区の子どもたちの健やかな成長のために力を一つにして頑張っていきます。



アンケートにご協力ください！

目指す子ども像・CS名を みんなで考えましょう

新しく設立される小佐々地区コミュニティ・スクールでは、小佐々地区3校が一つの学園となって、子どもたちの健やかな成長に向けて教育活動を行います。

そこで、『目指す子ども像』『コミュニティ・スクール(CS)の名称』のアンケートをみなさまにお願いします。

『小佐々の子どもたちにどんなふうに育ててほしいのか』

『新しいコミュニティ・スクールはどんな名前にしたらいいのか』

一緒に考えて、新しいコミュニティ・スクールを一緒につくっていきましょう。みなさんのご協力をよろしくお願いします。(* ^ _ ^ *)

アンケート回収

各世帯に配布されております
アンケートは回収袋に入れて、
提出をお願いします。

締め切りは

12月11日(日)です。

よろしくお願いします m(_ _)m

看板を設置しました！

黄色の目立つ看板をもうご覧になりましたか。小佐々地区3校はコミュニティ・スクール実践校として、頑張っています。

